

携帯電話を支える技術特集 によせて

平素よりNEC製品・携帯電話に対してご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、昨今の携帯電話の発展は特に目覚しく、日本市場においても、単に加入数が1億を超えたというだけではなく、その内の9割以上が同時にモバイルインターネットにも契約しており、さらに「おサイフケータイ^{®1}」など通信機器の領域を超えたサービスも次々に実現されて、年間で実に5,000万台の新しい携帯電話が購入されるという、巨大な市場を形成しています。また、最近の調査では世界全体での普及率が5割に達したという報告もあり、まさに世界中の人々にとって、携帯電話は、常に手元になくってはならない存在になったと言えます。

その巨大な市場を動かす原動力が、携帯電話の小さな箱の中に織り込まれている様々な技術です。その技術の絶え間ない革新が、携帯電話に新しい価値を産み出し、市場を創出しているのです。

NECは、携帯電話を市場に初めて投入して以来、常にその技術革新の先頭に立ち、折り畳み形状を始めとする機構技術や、iモード^{®2}、3Gなどの通信技術、あるいは携帯電話へのLinux^{®3} OSの導入、PC同様のフルブラウザ機能搭載など、様々な分野で技術イノベーションを起こし、市場をリードしてきました。その対象領域は、半導体や液晶から、機構、電気、無線や地デジ、音楽、カメラなどのHWの分野、OS、ミドル、Java^{®4}、WebサービスなどのSWの分野まで非常に多岐に及んでおり、今も拡大を続けています。

本特集では、それら携帯電話を支える技術群のなかで、まず最初に、開発の基盤であり競争力の源泉でもあるHW/SWのプラットフォーム

¹ 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

² 「iモード」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

³ Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

⁴ Javaは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

に関する最新の動きをご紹介します。次に、携帯電話の周辺機器の中でもますます高機能化の進むカメラに関する技術、また従来から重点的に取り組み、その技術力が高く評価されている薄型化技術、さらにNECが他社に先駆けて実装して世の中に訴求している無線LAN技術の3点の重要な要素技術をご紹介します。もちろんこれらは、今の携帯電話を形成する技術のほんの一部ではありますが、携帯電話を理解される一助になれば幸いです。

NECは今、ユビキタス社会の基盤となる次世代ネットワーク（NGN）構築を主導しています。その中で、最終的に「人」と接する携帯電話にも、今まで以上の進化、イノベーションが求められると考えています。それは、持っているだけで、“楽しく”、“ワクワク”して、しかも、ネットワークが提供する様々な新サービスを快適に簡単に享受できる端末であるはずで、さらには、少子高齢化や環境問題などの社会的課題にも対応し、誰にでも使いやすいユーザインタフェースと低消費電力などを兼ね備えた“人と地球にやさしい”端末でなければなりません。

そのために、NECの携帯電話開発では、従来にも増して端末ひとつひとつの形状や人とのインタフェースにこだわり、同時に自らの強みである通信関連技術を一段と磨いて、それぞれの端末を常に魅力的なものに進化させていきます。その上で、PCやネットワーク、サーバなど、NEC社内に有するあらゆる関連技術とも強く連携しながら、人や社会に新しい価値を提供していきたいと考えています。

今後とも皆様の変わらぬご指導とご愛顧を賜りますようお願いいたします。

取締役 執行役員専務

大武 章人

